

0. アルファロメオチャレンジ開催趣旨

- 0-1 アルファロメオ(一部フィアット)製車両を用いて、アルファロメオ(フィアット)愛好家が自ら車両を操縦し、競技に参加し、競争を楽しむアマチュアクラブマンのレースである。
0-2 アルファロメオチャレンジでは、アルファロメオES30(含む)以降に製造された、比較的新しいアルファロメオのクラスを称してモデルナクラスと呼ぶ。
0-3 アルファロメオチャレンジでは、アルファロメオES30(含む)以前に製造された、比較的古いアルファロメオのクラスを称してヒストリッククラスと呼ぶ。

1. 参加資格とカテゴリ

- 1-1 ドライバーの参加資格
参加者は、普通運転免許証を持ち、少なくともサーキットフラッグの意味を理解しそれに従うことができること。また、競技規則を守るとともに他の競技者に敬意を払うことができる者であること。以上の条件を満足した上で、アルファロメオチャレンジアシエーションの会員であること。
1-2 アルファロメオ車両であれば、年式・車種を問わず参加資格を有し、車種・仕様・改造程度等によりいずれかのクラスに参加資格を有するものとする。
1-3 ヒストリック・モデルナの参加車種
ヒストリック・モデルナの参加車種は以下に示すとおりとする。
(1)ヒストリック:ヒストリックの参加車種は、原則としてES30(含む)以前のアルファロメオ車とし、以下に示す車種とする。
(2)モデルナ:モデルナへの参加車種は、原則としてアルファロメオES30(含む)以降のアルファロメオ車とし、以下に示す車種および150-8クラス規定のフィアット車とする。
1-4 ヒストリック・モデルナ参加車種に関する補足ならびに特例



2. 車両の区分

- 2-1 希望クラス申請、事務局よりクラス分け
下記のクラス分けが基準となるが、入会・更新時に希望クラスを申請。車両改造範囲、過去の実績により事務局がエントリークラスを決定する。
2-2 ヒストリック・モデルナ共通参加のクラス
・SR(スーパーレーシング):HSR-MRの上位に位置し、ヒストリック・モデルナに関わらず車両規定を満たすすべてのアルファロメオが参加可能。
・AR100:入門として(特にサーキット初心者)幅広く参加できるように設置されたクラス。
・ARL(レディース):女性専用クラス、女性が参加しやすいよう設置のクラス。
2-3 ヒストリック車両のクラス
・HTA200:車両規定(参加車両の改造範囲)を満足し、実排気量が2000cc以下のTA(トランスアクスル)車両。
・H130:車両規定(参加車両の改造範囲)を満足し、実排気量が1300cc以下のTA(トランスアクスル)構造で無い車両。
・H180:H160同様の内容で、実排気量が1800cc以下の車両。
・H200:H180同様の内容で、実排気量が2000cc以下の車両。
・HR(ヒストリックレーシング):上記の車両規定を満足しないヒストリック車両または過給機付の車両。
・HSR(ヒストリックスーパーレーシング):HRの範囲を超えた、車両・ドライバー、または、発売当時のオリジナルティを重視しない改造を施した車両。
モデルナ車両のクラス
・AR120:レース入門クラス(AR100のレース版)、入賞者は次回参戦不可。
・AR150:車両規定(参加車両の改造範囲)を満足し、ラジアルタイヤを装着するモデルナ車両。
・AR200:車両規定を満足し、実排気量が2000cc以下のモデルナ車両。
・AR250:車両規定を満足し、実排気量が2001cc以下のモデルナ車両。
・AR300:車両規定(参加車両の改造範囲)を満足し、実排気量が3001cc以上のモデルナ車両。
・MR200:AR150・AR300の車両規定を逸脱する。実排気量が2000cc以下のモデルナ車両。
・MR300:AR150・AR300の車両規定を逸脱する。実排気量2001cc以上のモデルナ車両、及び過給機付車両。ただし155は2501cc以上。

3. 安全規定(共通)

- 3-1 難燃性の長袖長ズボンで、運転に支障のない服装を着用すること。
3-2 フルフェイスもしくはジェットタイプのヘルメットの着用を義務付ける。
3-3 オープンカーの場合はフルフェイスタイプを義務付ける。
3-4 レース用グローブの着用を義務付ける。指先の露出する物、手首の露出する物は不可。

4. 車両安全規定(共通)

- 4-1 ヘッドランプ、テールランプ、ブレーキランプ、ウインカーなどすべてのランプ類は正常に点灯し機能すること。
4-2 アンバレットはモデルナAR各クラス以外に4点以上のフルハーネスを義務付ける。
4-3 バッテリーおよび配線は確実に固定されなければならない。
4-4 フローパイプ還元装置を取り外している車両に関してはオイルをコース上に流出することを防ぐ確実なフローパイプオイルキャッチタンク装着を義務付けるものとする。
4-5 排気管は後方もしくは側方に向け、燃料系統に対し十分な防護措置を講じなければならない。
4-6 ヒストリック各クラス・SRクラス・MRクラスは、ロールオーバー・ガード、ロールバーの装着を強く推奨する。
4-7 カットオフスイッチの装着を強く推奨する。
4-8 フロントウインドシールドは合わせガラスが望ましい。
4-9 走行時は牽引フックの装着を義務付ける。取り付け方法も確実にフレーム等に固定されなければならない。前後装着を強く推奨する。

5. 参加車両の改造範囲(特に記載の無い場合は全てのクラスを対象とする)

- 5-1 エンジンブロックの交換はヒストリック/モデルナ各々、出場するクラスに出場可能な車種に搭載されていたブロックの範囲内で交換する場合のみ異なる排気量でも可。
5-2 気筒数の変更、ピストリング、ピストン、コンロッドは交換可。ただしモデルナはSR・MRクラスのみとし、排気量に変更となる場合は当該クラスに変更すること。
5-3 シムリングヘッド交換は、そのクラスに出場可能な車種に搭載されていたヘッドの範囲でのみ交換可。ポート研磨、ヘッド面研磨などヘッド加工は可。ただしモデルナはSR・MRクラスのみとする。
5-4 カムシャフト、バルブ、バルブスプリングは自由。ただしモデルナはSR・MRクラスのみとする。
5-5 フライホイールは変更、加工とも自由。ただしモデルナはSR・MRクラスのみとする。
5-6 潤滑系統はHSR・HR・SRのみドライザン自由。ただし潤滑系統の接続は確実なものとし、ホースバンドは不可。
5-7 オイルクーラーの追加は可。その場合取り付け位置が車体内に収まり、ホース・フィッティングが外れる事のないように固定すること。
5-8 冷却系統の変更は自由。この場合も車体内に取り付け確実に固定すること。
5-9 吸気装置はキャブレターからインジェクションへの変更は不可。インジェクションからキャブレターへの変更は可。
5-10 4-4規定によりダイレクト吸気装置の場合フローパイプの大型開放は禁止。この場合オイルキャッチタンクの装着を義務付ける。セパレータなどの簡易装置は禁止。
5-11 排気系統の交換は自由。ただし有効な消音装置の装着を義務付ける。
5-12 点火プラグ交換は自由。点火装置の変更追加は自由。
5-13 モデルナは、ターボ車のタービン交換はSR・MRクラスのみとする。(ARクラスでは不可)
5-14 クラッチは交換自由。
5-15 ギアボックスはオリジナルのケースを使用すること。モデルナでは、ギア比の変更はSR・MRクラスのみとする。(ARクラスでは不可)
5-16 最終減速装置は生産時にアルファロメオ一般市販車に搭載されているデフケースを使用すること。この場合差動装置を追加することは可。モデルナでは、ファイナル変更はSR・MRクラスのみとする。
5-17 ホール、スパーサーは自由。ただしホルの回転及びオフセット値の変更はタイヤを装着した状態でコンパウンド内に収まるサイズまでとする。
5-18 タイヤは一般市販タイヤであること。レーシングタイヤ(スリック、カッツスリック、オールウェザー、レーシングレインなど)は禁止。フェンダー内に収まるサイズまでとする。
5-19 ショックアブソーバーの変更は可。
5-20 スプリングの変更は可。
5-21 サスペンションアームに関しH130・H160・H180・H200は形式の変更、改造は不可。その他のクラスは寸法形状ともに自由。
5-22 スタビライザーの追加変更は可。この場合スタビライザーエンドボルトはロールオーバー化も可。
5-23 ブレーキローターに関し、寸法形状ともに自由。
5-24 ブレーキパッド(シュー)は交換自由。倍力装置は取り外し変更可。
5-25 ブレーキキャリパー変更はヒストリックは、4ポットキャリパーの範囲内で交換可。モデルナは自由。
5-26 ステアリングホイールは交換可。
5-27 ペダル類は交換可。
5-28 H130・H160・H180・H200クラスにおいてサスペンションアーム取り付け 支点の位置変更は不可。
5-29 H130・H160・H180・H200クラスにおいてサスペンションアームの追加は不可。アルファ伝統のいわゆるCRBBシステムは許される。

6. 車体形状および改造範囲

- 6-1 ウィング、スポイラー、オーバーフェンダー等の取り付けは、H130・H160・H180・H200クラスは認めない。HRクラスでは当時の形状と同一のオーバーフェンダーのみ認めるが、取付はリベットまたはボルトナットなどで確実に固定すること。HSR及びモデルナでは車体寸法内に収まる物に関しては認めるが、取付はリベットまたはボルトナットなどで確実に固定すること。
6-2 開口部は形状の変わらぬ樹脂または軽金属製の交換可。ヒストリックはボンネットへのエアダクトの追加禁止。モデルナは可。すべて走行中に開かないようピンまたはベルトなどで確実に固定すること。
6-3 パンパー、パンクスターはヒストリックでは変更、取外しを認める。モデルナは取外しを認めない。ただし軽量樹脂製のパンパーに交換可。この場合レインセンサー、取付ステーは確実に使用すること。
6-4 座席を取り外し、交換ともに自由。運転席の固定は必ずボルトナットで確実に固定すること。ただし、AR150クラスは取り外し不可。
6-5 窓ガラスは、フロントウインドーを除く他の窓ガラスを透明な他の材質に変更することは可。ただし、AR150・AR200・AR300クラスは不可。
6-6 ダッシュボードの変更、交換は認められるが、取り外しは不可。
6-7 パツェリーの変更、搭載位置変更は可。ただし、車室内に位置変更する場合は有効な仕切り隔壁により車室と隔離しなければならない。
6-8 ヒストリック車両の最低重量はH130/800kg(750・101は720kg)、H160/810kg(750・101は730kg)、H180/830kg(750・101は750kg)、H200/850kg(750・101は770kg)とする。これ満たさない場合はHR・HSRクラスとする。(HTA200・300は除く)